

4・3(%)とは「評価4(そう思う)と評価3(だいたいそう思う)」が占める割合。評価2は「あまりそう思わない」、評価1は「そう思わない」、評価0は「わからない」。

目指す生徒像	項目	生徒による評価(4点満点) ※平均は「0:わからない」を除く					保護者による評価(4点満点) ※平均は「0:わからない」を除く					学校関係者評価委員(学校運営協議会委員) からの評価と提言	来年度に向けた改善策
		平均	4・3%	1年	2年	3年	平均	4・3%	1年	2年	3年		
「自律」 基礎・基本を身につけ、自ら考え、正しく判断し、連携・協働できる	わかりやすい授業のための工夫(少人数指導、ICTの活用など)が行われていると感じますか。	3.4	91%	3.4	3.3	3.4	3.2	92%	3.0	3.2	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶が素晴らしく、部活動では学年の壁を感じさせず教職員が不在でも自主的に動く姿が見られた。</li> <li>・「キャリアパスポート」を除き肯定的評価が概ね9割程度となっており、基本的な生活習慣が確立されている。</li> <li>・町外・県外から生徒が集まる環境ながら、3年間の高校生活で生徒の自主性が着実に成長している。</li> <li>・学校から地域に目を向けた取り組みが充実しており、今の高校生らしいはっきりとした主張や仲間意識が感じられる。</li> <li>・キャリアパスポートが行事前後のみの活用にならないよう、小中高で連携した運用を検討してほしい。</li> <li>・不安定な社会情勢の中、自ら考え正しく判断する力を養うため、先生方の人間性を指標としたより深い指導を期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTや生成AIを効果的に取り入れた授業実践を共有し、教科の枠を超えた教員相互の研鑽を活性化させる。</li> <li>・学習時間調査を活用しながら、ICTを活用した課題や内容を工夫し、学習習慣の確立をすすめていく。</li> <li>・HRや集会における指導の充実を図り、規範意識の醸成と礼儀・マナーの向上を全校体制で推進する。</li> <li>・キャリアパスポートを通して計画的な自己省察を促す。</li> <li>・外部スタッフとの連携を密にするとともに、寮生会の適時開催を通じて、生徒の規範意識と自律的な生活態度を養う。</li> </ul>
	学習習慣確立のための指導(課題提出、手帳活用等)が行われていると感じますか。	3.3	86%	3.5	3.1	3.3	3.1	89%	3.0	3.1	3.1		
	基本的な生活習慣(服装、あいさつ、マナー等)の確立のための適切な指導が行われていると感じますか。	3.3	86%	3.4	3.1	3.4	3.3	92%	3.2	3.2	3.5		
	キャリアパスポートを通して自分を振り返り、学校生活に活かすことができましたか。	3.1	80%	3.3	3.0	3.1							
「友愛」 自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる	寮生活を通して、規則を守り、身の回りのことが自分でできるようになりましたか。(寮生のみ)	3.6	95%	3.7	3.1	3.6	3.3	93%	3.1	3.6	3.5		
	人権に関する学習により、生徒の人権意識が高まっていると感じますか。	3.3	84%	3.3	3.3	3.3	3.0	85%	2.8	3.0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人同士、教職員、地域住民に対して互いの大切さを認め、良好な関係を築けている。</li> <li>・1年生の人権意識は2、3年生に比べてやや低い傾向にあるが、全体として地域交流などのつながりは維持されている。</li> <li>・人間関係のトラブルに対しても、スクールカウンセラーを活用しながら解決に向けて努力されている。</li> <li>・今後は、関わりのない人や自分とは異なるルーツ・境遇を持つ人に対しても想像力を働かせられる心の育成を期待する。</li> <li>・トラブル対応の際は、引き続きお互いの話を十分に聞く丁寧な対応を継続してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止や情報モラル等の個別課題に対し、HRや啓発誌の活用、生徒会活動など、教育活動全体を通じて人権意識の高揚を図る。</li> <li>・地域をフィールドとした課題研究やシンポジウムを通じ、単なる活動体験に留まらない学問的・実践的な質の向上を、適切な伴走支援により実現する。</li> <li>・新寮の運用開始に合わせて「寮生のしおり」を改訂・周知し、規律ある共同生活を通じた相互協力の精神を養う。</li> </ul>
	地域の方との交流をもつ活動に積極的に参加していますか。	3.1	71%	3.0	3.1	3.2	3.1	79%	3.0	3.3	3.1		
寮生活を通して、仲間と協力して生活できるようになりましたか。(寮生のみ)	3.5	85%	3.7	3.0	3.3	3.3	93%	3.3	3.7	3.3			
「進取」 着実な努力を基盤としつつ、何事にも積極的に取り組むことができる	授業は学力を伸ばし、将来の進路選択につながるものになっていると感じますか。	3.5	92%	3.5	3.4	3.5	3.1	88%	2.9	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命地域学」や進路指導において、生徒と教職員が共に努力している様子が外部からもひしひしと伝わっている。</li> <li>・習熟度別指導などのきめ細かな学習指導は、本校の大きな強みとして評価できる。</li> <li>・地域の祭りでのゴミ拾いやボランティア活動など、様々なことに前向きに挑戦する積極性が見られる。</li> <li>・学習内容の定着に向け、生徒会などを通じて生徒自らが学習時間の確保や方法を発信していく仕組みを検討してほしい。</li> <li>・生徒指導面において、部活動顧問、舎監、地域住民との連携をさらに強めることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命地域学」で得られた探究の成果を上級学校での学びに直結させ、全教科において進路実現を見据えた質の高い授業実践を推進する。</li> <li>・生徒会活動を、課題解決力や創造力を養う実践の場と位置づけ、生徒主導の多様な取り組みを継続的に支援する。</li> </ul>
	生徒会活動や部活動に積極的に参加できるような支援が行われていると感じますか。	3.5	88%	3.6	3.3	3.5	3.3	91%	3.1	3.4	3.4		
「創造」 地域のすばらしさを理解し、みらいを創造できる	進路面談や進路ガイダンス・上級学校授業体験・企業見学などの進路学習が、進路目標の設定に役立っていると感じますか。	3.5	93%	3.6	3.4	3.5	3.2	95%	3.1	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命地域学」の発表会等を通じ、地域に飛び出して積極的に活動し、上手な発信ができています。</li> <li>・少人数の良さを生かした進路指導や地域とのつながり作りが評価できる。</li> <li>・物事を俯瞰して見る「客観的視点」や評価者としての視点がまだ弱いため、先生方のサポートで思考を深めてほしい。</li> <li>・ICTネイティブ世代としてAI等の影響も大きい中、活動の本質をより掘り下げて理解する姿勢を養う必要がある。</li> <li>・地域貢献の企画・運営には費用もかかるため、「生命地域学」において生徒がより自由にお金を使えるような支援も検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に進路指導の全体計画および詳細な年間計画を提示し、学年部や担任との強固な連携による組織的な進路指導を推進する。</li> <li>・保護者面談時における資料の充実や多角的な情報発信を工夫し、家庭との緊密な連携を通じた進路支援の最適化を推進する。</li> <li>・ICTや生成AIの利便性を活用しつつも、情報の真偽を確かめる批判的思考や、他者との対話を通じた多角的な考察を取り入れ、探究プロセスの深化を図る。</li> </ul>
	進路選択を行うために必要な情報が提供されていると感じますか。	3.5	93%	3.5	3.3	3.6	3.1	86%	3.0	3.1	3.2		
	「総合的な探究の時間」や「生命地域学」で「関わる」「描く」「発信する」力を伸ばすことができましたか。	3.5	91%	3.4	3.4	3.6							
	学校魅力化につながる特色のある教育が行われていると感じますか。	3.5	89%	3.6	3.3	3.6	3.2	91%	3.1	3.2	3.2		
その他評価を求めたい項目	学校だよりやホームページにより、学校の様子がよくわかりますか。	3.4	87%	3.4	3.3	3.5	3.2	91%	3.2	3.2	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校だより」の全戸配布は、ICTを利用しない高齢者や地域住民にも学校の様子が伝わるため、紙媒体の良さが活かされている。</li> <li>・ホームページやクラウドサービスの活用も進んでおり、情報発信の姿勢が感じられる。</li> <li>・配布物が保護者に届かないケースがあるため、クラウド等を利用してWeb上で共有スペースを公開するなどの工夫を検討してほしい。</li> <li>・読書習慣を推進し、哲学的な思考を深める機会を作ってほしい。</li> <li>・委員がより生徒と接する機会を増やすため、地域の行事への参加機会をさらに設ける必要がある。</li> <li>・生徒に接する機会が少ない委員もいるため、学校生活の実態をより多角的に伝える工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体の広報を継続しつつ、クラウド上での配布物共有を検討し、地域・保護者への確実かつ多角的な情報提供を推進する。</li> <li>・地域行事への積極的な参画を検討するとともに、学校情報の可視化により、評価委員や地域住民が生徒と接し、理解を深める機会を拡充する。</li> </ul>
	心身の健康について、教職員やスクールカウンセラーに相談しやすい体制になっていると感じますか。	3.3	80%	3.4	3.0	3.4	3.1	85%	3.0	3.1	3.2		
	お子様の健康・安全等について、家庭との連携が適切に行われていると感じますか。	3.5	89%	3.5	3.4	3.7	3.1	85%	3.1	3.1	3.1		
	本校の図書館は利用しやすい環境(蔵書数、設備)ですか。	3.5	90%	3.6	3.5	3.5	3.1	87%	3.2	3.0	3.2		
	本校の教育は教育目標(「自らの人生を主体的に切り拓いていく力の育成」「活力ある地域・社会づくりに貢献できる人材の育成」)を達成できるカリキュラムとなっていますか。	3.4	91%	3.4	3.3	3.4	3.2	91%	3.1	3.1	3.3		